

# 特別支援学校小学部児童の 登校支援に関する取組

## 児童の実態

- ・小学部児童

- ・事故や災害、感染症や対人関係による不安から、登校や集団参加に課題がある

## 教員の願い

友だちとの関わりを増やしてほしい。

友だちと自発的かつ日常的に関わる。



友だちと設定された遊びや活動をペアで取り組む。



すれ違う友だちに自発的に挨拶をする。

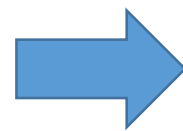


設定された環境で、友だちに挨拶をする。

ここに  
アプローチしたい

## アドバイザーからの助言

9月以降、登校できていない状態なので、まず登校を目指すことが大切！



登校に関する  
標的行動に変更する

学校生活で感じた不安やイヤな感情を、学校にいる間に解消することが大切



「ふりかえりシート」を活用し、毎日の帰りの活動で本人の気持ちを把握する

# 「学校に行く」のABC分析

# 現状 (Before)

A先行条件

B行動

C結果

自分の部屋でいる状態  
(イヤなことが起こるかも  
という不安なし)

自分の部屋でいる状態  
(コロナにかかる不安なし)

不安について話し合う  
担任との約束あり

学校に行く

今後、イヤなことが起こる  
不安あり↓

コロナにかかる不安あり↓

解決策が見つかるかも↑

**イヤなこと**  
=急に話しかけられる。ほめられる。  
お願いされる。質問される。注目など

## 事前準備

感染症への不安から、長期間の欠席が続いていたので、毎日の登校は難しい可能性あり。



本人と5日間のうち、登校する日数を相談する。

## 標的行動①

登校開始日から、登校日5日間のうち3日間以上、登校することができる。

(家庭の送迎に関する事情を除く)

## 指導手続き(ステップ1)

①登校できた日は、教室に到着後すぐにトークン(登校回数カード)を渡しつつ称賛(カードの言葉+〇回目登校、すばらしい)を行う。

②登校開始日より登校日5日間のうち、3日間登校 →150pを与える。  
4日登校→+50p(合計200p)、5日登校 →+100p(合計300p)

③次の5日間も3日間以上登校ができた場合は、ボーナスポイントを与える。

## 指導手続き(ステップ2)

・登校に関するポイントの見直しを提案をする。

ステップ1 3日間登校→150p、4日→+50p、5日→+100p、合計300p

ステップ2 3日間登校→70p、4日→+50p、5日→+80p、合計200p

# 「学校に行く」のABC分析

# 解決策導入後 (After)

## A先行条件

イヤなこと起こる不安なし

コロナにかかる不安なし

不安について話し合う  
担任との約束あり

獲得できるカードのレア度の設定あり

3日以上の登校を促すポイント設定

継続した登校を促すポイント設定

## B行動

3日以上、  
登校する

## C結果

イヤなことが起こる不安あり↓

コロナにかかる不安あり↓

解決策が見つかるかも↑

3, 4日シルバーカード  
5日ゴールドカード↑

3日150P, 4日50P, 5日100P↑

連続登校でボーナスポイントあり↑



# 登校回数カード



# トークン表

登校して、ポイントをゲットしよう◎

2月4	火5	水	3木	/金
		文化の日		
家事都合	家事都合			家事都合

3回登校 → 150P  
 4回登校 → 50P(計200P)  
 5回登校 → 100P(計300P)

「シルバーすごいよ!」以上を連続で獲得すると、ボーナスPをゲットできるよ

2回連続ゲット → ボーナス20P  
 3回連続ゲット → ボーナス40P  
 4回連続ゲット → ボーナス70P  
 5回連続ゲット → ボーナス100P

「ゴールドヒャッホイ!」を連続で獲得すると、より多くのボーナスPをゲットできるよ

2回連続ゲット → ボーナス50P  
 3回連続ゲット → ボーナス100P  
 4回連続ゲット → ボーナス150P  
 5回連続ゲット → ボーナス200P

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
シルバー (3日以上)	○	○	○									
ゴールド (5日以上)		○	○									

## 達成基準・中止基準(ステップ1)

(達成)

登校開始日より登校日5日間で、3日間以上登校できた回数が5回連続した場合、達成とする。

(中止)

登校開始日より登校日5日間で、3日間以上登校できなかった回数が2回連続した場合、中止とし指導手続きを変更する。

ステップ2では、1回でも3日以上登校できなかった場合とした。

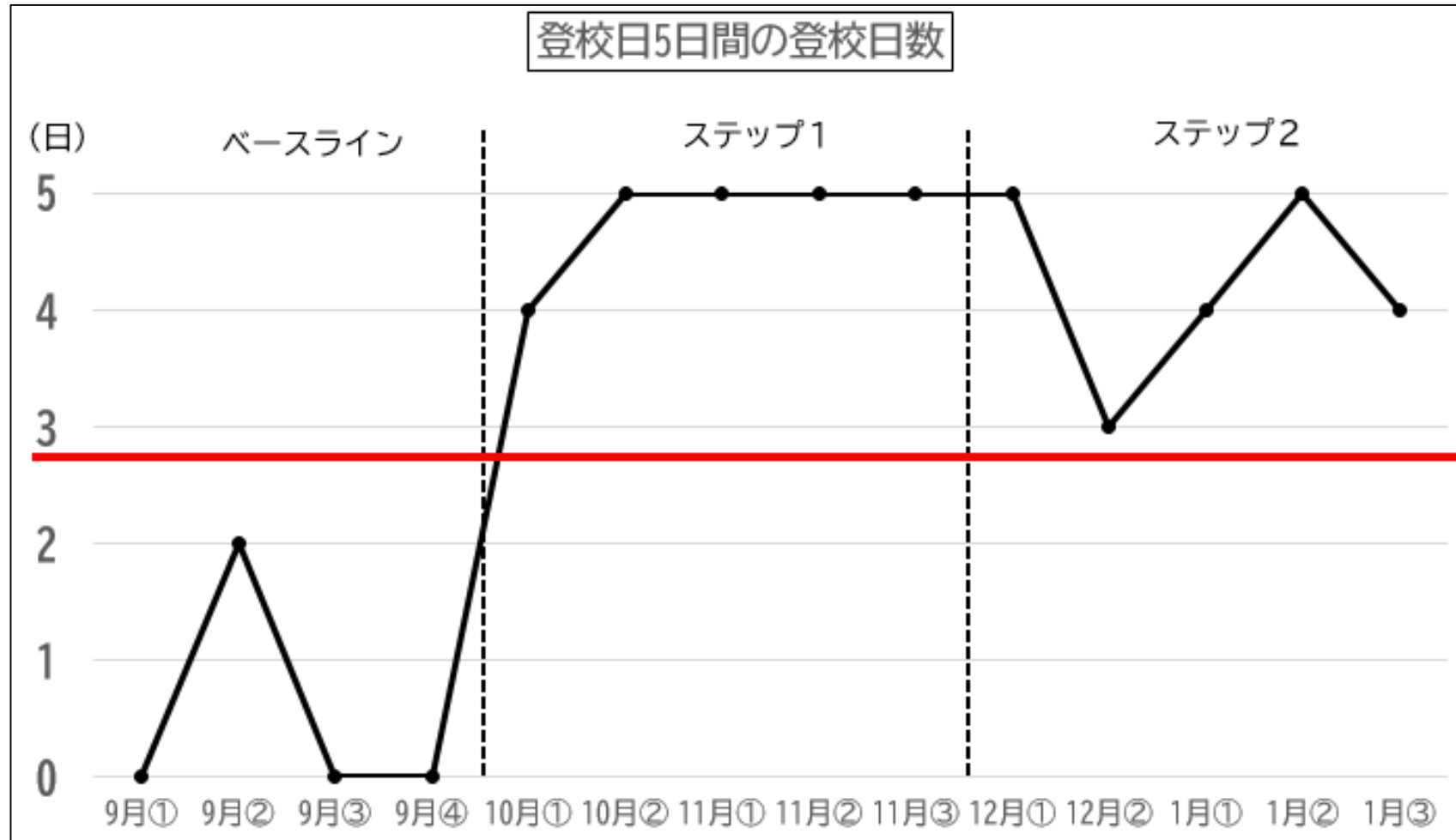
(例)木曜日から登校

	木	金	月(代休)	火	水	木	金	月	火	水	木	金	...
登校日	1	2		3	4	5	1	2	3	4	5	1	

登校開始日

# 結果

- ・ステップ1では、指導開始日から4日間登校することができた。それ以降は、5日間で5日間登校できた。
- ・ステップ2では、5日間で3日間、4日間の登校があった。本人の登校意欲はあるものの、母が送迎できない日が増えた。母以外の送迎では登校できない日が多かった。



## 成功のポイント

- ・本人と登校日数について相談し、目標設定を行った。
- ・登校意欲が促されるようなトークンエコノミーシステムの導入。
- ・トークンエコノミーシステムの細かな更新。

## 課題

- ・母の送迎もしくは、母が車に同乗していなければ、登校できなかった。 →登校のための代替手段の確保。
- ・興味のあるバックアップ好子の準備やそれにかかる費用。

## 標的行動②

### 毎日、下校時に「1日ふりかえりシート」を記入することができる

(事前準備)

- ・1日ふりかえりシートを、下校スケジュールに追加することを提案する。
- ・トークンと関連づけることを説明する。
- ・「すこし腹が立った」「すこしいやなことがあった」を選択したときは、「担任との話」が選択できるように設定しておく。
- ・必ず担任に話す必要はないことを伝える。
- ・そのときは、選択肢「予定があるから明日話す」を選ばばよいことを伝える。

## 指導手続き(ステップ1)

- ①下校スケジュールを確認していないときは、言葉かけを行う。
- ②1日ふりかえりシートを担当に持ってきたときは、言語称賛と10ポイントを与える。

ステップ2では5P。ステップ3では1P。

※「すこし腹がたった」「すこしいやなことがあった」に○がついたときは、「何か気になることがあった？」と尋ねる。

## 達成基準・中止基準(ステップ1)

(達成)

15日間連続で、記入できた場合、達成とする。

(中止)

記入できない日が、3日間続いた場合は、中止し手続きを変更する。

# 結果

ステップ1、ステップ2、ステップ3において、すべての登校日で記入することができた。

ステップ1(全15日) ポイント10P														
10/14	10/19	10/20	10/21	10/22	10/25	10/26	10/27	10/28	10/29	11/1	11/4	11/8	11/9	11/10
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ステップ2(全15日) ポイント5P														
11/11	11/13	11/18	11/19	11/22	11/24	11/29	11/30	12/1	12/3	12/6	12/7	12/10	12/15	12/17
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ステップ3(全15日) ポイント1P														
12/21	12/23	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/18	1/19	1/20	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 成功のポイント

- 本人の負担が少なく継続して取り組むことができるワークシートを作成した。
- 帰りのスケジュールの1つの活動として取り入れた。
- トークンエコノミーシステムと関連づけを行った。